

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：保健所費 目：保健所費

事業名 結核予防業務費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策二係 電話番号：058-272-1111(内 4655)

E-mail:c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,988 千円 (前年度予算額：8,911 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	8,911	4,455	0	0	0	0	0	0	4,456
要求額	8,988	4,494	0	0	0	0	0	0	4,494
決定額	8,988	4,494	0	0	0	0	0	0	4,494

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内では290人の結核新規患者が発生しており、罹患率も14.6と全国平均(11.5)に比べて高く全国47都道府県のうちワースト2位となっている(R1)。国際的にも日本は結核の「中まん延国」とされており、結核の制圧に向けて継続した努力が求められている。

結核のまん延を防止するために必要な対策の一つとして、接触者健康診断及び管理検診を適切に実施することにより、結核の早期発見・早期治療を達成することがあげられる。

(2) 事業内容

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(=感染症法)に基づき、結核患者の接触者健康診断及び結核登録患者の管理検診を実施し、感染者の早期発見と早期治療により結核の感染拡大を防止する(感染症法第17条、第53条の13)。

1. 結核登録患者の管理検診 (感染症法第53条の13)

保健所は結核患者と結核回復者(治療終了から2年以内の結核を再発しやすいとされている者)に対する管理検診を各保健所にて実施する。

- ・ 検診内容：胸部 X 線検査、喀痰検査による病状把握
 - ・ 検診回数：年 2 回
2. 患者の接触者（対象者）の健康診断（感染症法第 17 条）
- 結核患者が発生した場合、感染源や感染経路を確認し、感染拡大を防止する目的で接触者（家族等の対象者）に対する検診を各保健所にて実施する。
- ・ 検診内容：胸部 X 線撮影、I G R A 検査、ツベルクリン反応検査（BCG 未接種者）
 - ・ 検診回数：接触による感染が疑われる際に 1 回もしくは 2 回

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1 / 2、県 1 / 2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額(千円)	事業内容の詳細
旅費	150	業務旅費
需用費	1,346	検診に用いる消耗品、ガソリン代等
役務費	630	接触者、管理健診対象者への郵便、電話代
委託料	6,862	I G R A 検査、廃棄物処理の委託費用
合計	8,988	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画

岐阜県感染症予防計画

岐阜県結核予防業務指針

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
結核感染・発症している患者を早期発見・早期治療し、結核の感染拡大を防止する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値	目 標	達成率
		(H29)	(H30)			
人口 10 万人当 たり結核罹患 率（暦年）		15.6 (H29)	14.0 (H30)	14.6 (H31)	10.0 (R3)	68.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
接触者健診（延べ人数）
・ツ反 47 人、レントゲン撮影 712 人、I G R A 検査 1,657 人
管理健診（延べ人数）
・レントゲン撮影 116 人

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
結核患者の早期発見・早期治療のため、接触者健診により、結核患者の接触者への結核感染の有無を確認した。また、管理健診により、結核患者の結核再発の有無を確認した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	戦後、国内の結核感染率は大きな改善を遂げてきたが、依然として県内では290人の新規患者が発生しており、罹患率も14.6と全国ワースト2位と非常に高い状況にある（R1）。国際的にも日本は結核の「中まん延国」とされており、結核の制圧に向けて継続した努力が求められている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	結核罹患率は徐々に減少傾向にあるが、低まん延国の定義である罹患率10以下となるよう、より一層の努力が求められる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価) ○	厚生労働省科学研究「感染症法に基づく結核の接触者健診の手引き」等を参考にし、随時、岐阜県感染症診査協議会委員の呼吸器専門医等に確認しながら健診を実施している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>今後は高齢化の進展に伴う高齢者の発病及び外国人労働者等の増加に伴う外国出生者の発病がさらに増加することが危惧され、治療中断等による多剤耐性結核菌の発生や重度の合併症など治療の困難な事例の増加が予想される。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>今後更なる増加が危惧される高齢患者を中心として、他の結核対策事業と相俟って、結核予防知識の普及、結核患者の治療継続の支援等を行っていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	